

# HUG 訓練(避難所運営ゲーム)

主催 弥生が丘自治会 / 防災部(弥生が丘自主防災会)

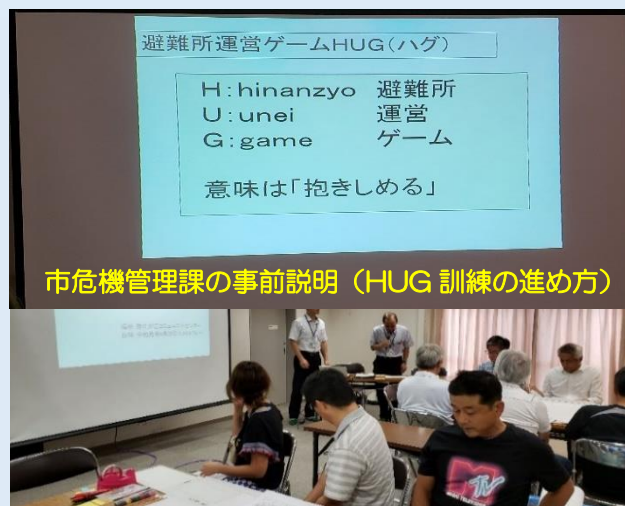
9月28日(土)弥生が丘コミセン大会議室を会場に、さんだ市政出前講座『HUG 訓練』(\*下記解説参照)が開催されました。三田市危機管理課、寛長課長補佐、北村係長の指導の下、弥生が丘自治会各丁の地区長、副地区長、防災部班長、役員等30名の参加者が真剣に訓練を行いました。

雨の降る12月の寒い季節の夕方に、震度7強の地震の発生(停電、断水状態)を想定しての訓練。市指定避難所である弥生小学校に続々と避難されてくる住民の方をいかに素早く、適切に体育館や教室に配置・誘導できるか?また、突如発生する想定外のさまざまなトラブルに対し、いかに適切に対応・処置できるか等の貴重な模擬体験ができました。



避難者を小学校の体育館や、教室にどう適切に振り分けるか? 頭を抱えている参加者

(4つの班に分かれ訓練を実施)



市危機管理課の事前説明 (HUG 訓練の進め方)

## HUG(避難所運営ゲーム)とは・・・?

- ① 静岡県が図上訓練の一種として開発した避難所運営ゲーム
- ② 住民が避難所運営を主体的に考えるためのツール。避難者の年齢や性別、国籍、それぞれが抱える事情が書かれた「カード」を読み上げ、参加者(プレイヤーと呼ぶ)が、避難所施設に見立てた平面図にどれだけ適切に避難者を配置できるか、また避難所で起こる様々なトラブルにどう対応してゆくかを模擬体験するゲーム
- ③ プレイヤーは、ゲームを通して避難行動要支援者等に配慮をしながら生活空間の配分を考え、部屋割りから仮設トイレの配置、炊き出しの場所、車の駐車スペース等を設定してゆく
- ④ また、避難生活の中でのトラブルやマスコミの取材対応、行政の長(総理大臣、知事、市長等)の視察の受け入れか否かの判断(\*1)や、ペットの扱いといった場面も想定して議論や話し合いを行う中で、ゲーム感覚で避難所の運営を学ぶ

(\*1)ある班で「大勢のお供を連れた総理大臣の視察が来た」のカードが読み上げられました。

対応をどうするかでプレイヤーの意見は真っ二つ

- 1)「避難者の対応でキリキリ舞だ。形だけの視察は迷惑だ、邪魔だ、すぐに引き上げてほしい」
- 2)「せっかくの視察につき丁寧に対応すべき。きっちり対応すれば、あとから救援物資等の優先配分が期待できる」……… **あなたならどうしますか?**

## 参加者の感想

- ・HUG 訓練は初めてで心配でしたが、すぐに要領がわかり参加してよかったです。弥生が丘は水害の心配はありませんが地震・台風等大きな災害は必ず起こります。今回の訓練は防災対応で大いに参考になり「減災」に繋がると思います
- ・今回の訓練で、避難者を受け入れ、お世話する側の大切さと大変さが良く理解できました。と同時に、避難する側の心得(人に頼りすぎず、自分でできることはできるだけすること)も大事なことだと思いました
- ・できるだけ多くの住民がHUG 訓練を体験し、防災意識の向上、災害に対する危機感を持っていただきたい

報告 令和元年10月

弥生が丘自治会/防災部 弥生が丘自主防災会